

2018年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育内容「環境」	教員氏名	生沼晴美
学年	1年	開講学期	前期
授業形態	演習	単位数	1単位
必修・選択	保育士・幼免必修		
テーマ	子どもを取り巻く環境を具体的に理解し、環境と関わりながら子どもの育ちを支える保育について学ぶ		
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する	
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う	
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う	○
授業の概要	<p>保育環境について様々な資料を通して学び、子どもにとってふさわしい環境について学ぶ。 子どもの育ちと、年齢に応じた環境への関わりを理解し、保育環境の構成や保育者の役割について学ぶ。 実際に自然や身の回りにある素材を用いた遊びを体験することを通して、子どもが環境にかかわって遊ぶことの意味を知る。</p>		
授業の 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容「環境」のねらいと内容を理解し、子どもを取り巻く環境(人的、物的、自然、社会、文化など)について関心をもつ。 ・環境にかかわりながら遊ぶ子どもたちの育ちを支える保育者の役割を知る。 ・学生自身が自然など身近な環境、素材(教材)などにふれ、遊ぶことによって、環境構成の大切さを知る。 		
テキスト	『子どもの育ちを支える子どもと環境』第2版発行一部改訂 大学図書出版 浅見均編著		
参考書	倉橋惣三文庫3『育ての心(上)』フレーベル館 倉橋惣三著		
	* その他、授業の中で紹介します。		授業中にプリントを配布する
ポートフォリオ	なし		
課題の確認と 成績評価方法	授業内レポート 30% 個人またはグループでの課題への取り組み 20% 最終課題レポート 50%		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	ガイダンス 授業の進め方などを説明し、環境について考える。
	授業外指示	授業の概要を確認し、自分の身の回りの環境に関心をもつ。次回の授業内容について事前学習をする。
第2回	テーマ 内容	保育内容「環境」とは 領域「環境」のねらいや内容を知る
	授業外指示	テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。
第3回	テーマ 内容	子どもの育ちと領域「環境」① 子どもの発達と環境について知る
	授業外指示	子どもの成長発達過程を確認する。テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。
第4回	テーマ 内容	子どもの育ちと領域「環境」② 子どもの発達と領域「環境」の内容を理解する
	授業外指示	子どもの成長発達過程と環境とのかかわりを確認する。テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。
第5回	テーマ 内容	身近な自然と子ども① 身近な自然にかかわることの大切さを知る
	授業外指示	子どもたちを取り巻く社会状況や身の回りの環境に関心をもち、学習した内容を振り返る。
第6回	テーマ 内容	身近な自然と子ども② 身近な自然に触れる(公園や大学構内で)
	授業外指示	公園や大学構内にある草木や花の名前を調べる。学習した内容を振り返る。
第7回	テーマ 内容	身近な自然と子ども③ 身近な自然を様々な素材で表現する(壁面構成)
	授業外指示	壁面構成について調べる。学習した内容を振り返り、様々な壁面構成のしかたを確認する。
第8回	テーマ 内容	身近な自然と子ども④ 身近な自然と子どもの遊びについて考える
	授業外指示	自然にかかわる遊びに関心に向け、調べる。テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。
第9回	テーマ 内容	身近なもの子ども① 身近なものにかかわることの大切さを知る
	授業外指示	身の回りにある「物」に関心に向け、子どもの遊びに利用できるものを確認する。テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。

第10回	テーマ 内容	身近なものと子ども② 身近なものと子どもの遊びについて考える
	授業外指示	遊びに利用できる身近な「物」と遊具について調べる。テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。
第11回	テーマ 内容	身近なものと子ども③ 自分たちの作ったもので遊び、子どもの遊びについて考える
	授業外指示	自ら遊びを作り出す経験から感じたことをまとめる。学習した内容を振り返る。
第12回	テーマ 内容	保育環境と環境構成 保育環境について学び、環境構成を考える
	授業外指示	テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。
第13回	テーマ 内容	領域「環境」と保育の実践 安全・安心で充実した子どもの生活と遊びについて考える
	授業外指示	テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。
第14回	テーマ 内容	遊びと保育者の役割 保育者の存在や保育者の果たす役割について学ぶ
	授業外指示	保育環境と保育者の援助について、配布資料やテキストに基づき、これまで学習した内容をまとめる。
第15回	テーマ 内容	「環境」のまとめ 子どもにとってふさわしい環境について確認する
	授業外指示	保育内容「環境」の授業を通して、子どもの育ちを支える環境について総括する。

2018年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育内容「環境」	教員氏名	中島宏昭
学年	1年	開講学期	前期・後期
授業形態	演習	単位数	1単位
必修・選択	保育士・幼免必修		
テーマ	人が必要とする環境に関心を持ち、特に生きものに関する知識やそのいのちの大切さを学ぶ。		
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する	
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う	
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う	
授業の概要	<p>「野外にでて、自然を感じる、土に触れる」方針で演習を進める。具体的には、身近な植物、昆虫などの生きものの観察を行うとともに、畑でのサツマイモづくりを主軸とし、生きもののおおきさ、管理の重要性について、フィールドワークを通して体験的に学ぶ。そのため、野外で活動できる服装、運動靴で出席すること。雨天時には、室内で講義を行うようにするが、原則として小雨決行のため、雨具の準備をすること。天候や進捗に応じて授業内容が前後することがある。</p> <p>また、子どもにとって大切な遊びの場である公園について取り上げ、各事例について報告、ディスカッションを行う。</p>		
授業の到達目標	<p>幼児期に触れる環境(原風景)は、その後の青少年期、成人期だけでなく、熟年期、老年期まで影響を及ぼす。その環境づくりや環境(自然)に意識をもつことの重要性を体験を通して学ぶ。生きもの、特に植物を観察しながら、各人がもっている触、聴、嗅、視、味の五感を呼び起こすとともに、自然やいのちの奥深さ、不思議さを体験する。また、観察、スケッチを通して身近な公園や園庭、校庭に植えられている植物(樹木と草本)について、形と名前を一致させることができるようにする。</p>		
テキスト	野外でメモをとるための、SKETCH BOOK(KOKUYO セ-Y3)を準備すること(毎回持参)		
参考書	岩瀬 徹 ほか『野外観察ハンドブック 校庭の雑草』、および『校庭の樹木』(全国農村教育協会)		
	湯浅 浩史 『日本人なら知っておきたい 四季の植物』(筑摩書房)	授業中にプリントを配布する	
ポートフォリオ	なし		
課題の確認と成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内レポート(授業内に行う小テスト含) 40% ・授業外レポート 30% ・演習(出席)を目安に評価する。 30% <p>※授業内レポート、および授業外レポートは、植物や動物(昆虫)の観察スケッチや記録による ※出席数は、大学の規定に従う ※授業内容や課題内容についての質問は、授業の前後で行う</p>		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	ガイダンス:演習の準備, 授業の進め方について, グーグルクラスルームの説明
	授業外指示	シラバスを確認しておく
第2回	テーマ 内容	土に触れる:土の性質, 道具の使い方について実習を通して学ぶ
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席すること, 野帳(SKETCH BOOK)を持参すること
第3回	テーマ 内容	土を耕す:土を耕し, 施肥を行う
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席すること, 野帳(SKETCH BOOK)を持参すること
第4回	テーマ 内容	草本に触れる①:(前期)サツマイモの苗を植える (後期)サツマイモの収穫を行う
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席すること, 野帳(SKETCH BOOK)を持参すること
第5回	テーマ 内容	草本に触れる②:草本植物のうち, 特に雑草について学ぶ 根, 茎, 葉の形について観察する
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席すること, 野帳(SKETCH BOOK)を持参すること 学習した植物について, 図鑑, 文献等で調べて整理する(事後学修)
第6回	テーマ 内容	草本に触れる③:畑に生育する雑草について, 除草作業の実習を通して観察する
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席すること, 野帳(SKETCH BOOK)を持参すること 学習した植物について, 図鑑, 文献等で調べて整理する(事後学修)
第7回	テーマ 内容	畑や道具の管理の重要性について学ぶ (除草, 施肥, 鎌の手入れについて)
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席すること, 野帳(SKETCH BOOK)を持参すること
第8回	テーマ 内容	樹木に触れる①:樹木の特徴, 草本との違いについて観察実習を通して理解する
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席すること, 野帳(SKETCH BOOK)を持参すること 学習した植物について, 図鑑, 文献等で調べて整理する(事後学修)
第9回	テーマ 内容	樹木に触れる②:公園や園庭に多い樹木(落葉樹)を観察する
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席すること, 野帳(SKETCH BOOK)を持参すること 学習した植物について, 図鑑, 文献等で調べて整理する(事後学修)

第10回	テーマ 内容	樹木に触れる③:公園や園庭に多い樹木(常緑樹)を観察する
	授業外指示	野外で活動できる服装,運動靴で出席すること,野帳(SKETCH BOOK)を持参すること 学習した植物について,図鑑,文献等で調べて整理する(事後学修)
第11回	テーマ 内容	樹木に触れる④:自然環境の維持管理についてフィールドワークを通して体験する
	授業外指示	野外で活動できる服装,運動靴で出席すること,野帳(SKETCH BOOK)を持参すること 身近な自然環境の1つである雑木林について理解しておく(事前学習)
第12回	テーマ 内容	草本・樹木に触れる⑤:自然環境の維持管理について学ぶ 保育における植物の活用の仕方についてフィールドワークを通して体験する
	授業外指示	野外で活動できる服装,運動靴で出席すること,野帳(SKETCH BOOK)を持参すること
第13回	テーマ 内容	観察した植物について,復習する 押し葉や樹名板を作成する
	授業外指示	野帳(SKETCH BOOK)を持参すること 対象とする植物について特徴や文化,保育における活用法についてまとめておく(事前学修)
第14回	テーマ 内容	まとめ:野帳(SKETCH BOOK)およびレポートの提出,小テストとレポートに関するディスカッション
	授業外指示	野帳(SKETCH BOOK)を持参すること これまでの学習内容を踏まえて,身近な公園について現地調査を行う(事前学修)
第15回	テーマ 内容	復習:授業の振り返り,課題返却
	授業外指示	復習:授業の振り返り,課題返却